



主題名

みんなの人権を守りたい

教材名

「人権」について考えよう

(参考資料:「ほほえみ5・6年」兵庫県教育委員会編を一部改編)

人権学習の視点

普遍的な視点「人権の意義」

主題・教材について

中学年までの学習を踏まえて、身近で具体的な人権を知り、自分の人権だけでなく他者の人権についても正しく理解し、その権利の行使にともなう責任を自覚して、人権を相互に尊重しあうことの大切さを理解させる。

ねらい

身近な「人権」を知り、自分の権利だけでなく他者の権利も大切にしなければならぬことを理解させる。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○本時の学習課題を知らせる。	一斉	○本時の学習課題を知る。		
展開	ロールプレイをしてみよう				
	○場面状況について説明し、ロールプレイを行わせる。	グループ	○「ぼく」「友達」の役割になってそれぞれの言い分を言う。	○いろいろな考え方があることに気付かせる。	資料 「『人権』について考えよう」
	みんなの権利について考えよう				
	○「人権」の意味を理解させる。	一斉	○だれもが幸せな生活を送るために大切にされなければならない権利であることを知る。	○「勉強する・遊ぶ権利」のどちらも大切にしなければならない権利であることを理解させ、お互いを思いやることの大切さに気付かせるようにする。	ワークシート
	○どちらの権利も大切にするには、どうしたらよいか考えさせる。	個別 一斉	○ロールプレイをして思ったことや考えたことを発表する。		
	自分にとって大切な権利を考えよう				
	○「権利の木」の方法について知らせ、実際に行わせる。 (1 自分 2 グループ)	個別 一斉	○自分にとって大切な順に権利を並べる。 ○一番大切だと選んだ権利とその理由をワークシートに書き発表する。 ○グループで相談しながらやってみる。	○自分にとって大切な権利はそれぞれ違うことがあることを理解し合う。 ○グループの場合はリンゴの木を拡大し、リンゴのカードをはるようにしてもよい。	
まとめ	○「人権」では、自分の権利だけでなく、他者の権利も大切にしなければならないことを理解させる。	一斉	○学習を振り返って分かったことや思ったことを発表する。	○「人権」を相互に尊重しあうことの大切さを理解する。	

評価

身近な「人権」を知り、自分の権利だけでなく他人の権利も大切にしなければならぬことを理解させることができたか。

